

東区 前ノ学童保育所から赤塚学童保育所への移転の経緯

(はじめに)

前ノ学童保育所は、戦後間もなくの建物で4軒長屋の一角で、雨漏り・ネズミ・ゴキブリの出没・通風の悪さ等保育施設としては多くの問題があった。

以前は4学区を対象にしており、それぞれのほぼ中心にあるこの施設を動かすことは難しかったが、徳川学童保育所の分割により移転可能になった。

(やってきたこと)

- ・区役所へ毎年移転要望を提出。
- ・選出市議員2名と懇談して実情を訴える。

保育行事や保護者の懇親会にも顔出しをお願いして関係づくりを行う。

2005年度 ・中川市議と同学区の保護者や東区区政協力委員長と同町内の保護者が個人にも両氏に働きかけて実情を訴える。

- ・東区区政協力委員長に施設訪問していただき実態を理解していただく。

2006年度

- ① 中川市議より「東白壁学区のどんぐり広場なら何とかなるかも」の話をいただき具体化。
- ② 中川市議が間に入り、A. 町内区政協力委員長に協力のお願い。
B. 学区の区政協力委員の会議であいさつ
C. 学区連合会であいさつ
D. 東区区政協力委員長にあいさつ
E. どんぐり広場管理人にあいさつ

〈開所にあたり地域からの具体的な援助〉

町内会より : どんぐり広場入口の防犯灯の設置。

東白壁学区より : 倉庫設置費用を半額補助していただく。

移転前は子どもも少なく町内行事も皆無の地域でしたが、学童保育が地域向けに餅つきをしたりしている中で3年前からは赤塚町内行事として餅つきが位置付けられて、学童保育の施設を開放して人員の参加も含めて協力体制ができています。